

球技の中で、一番小さなコートと球を使うのが、卓球。日程の関係で、団体戦を見に行くことができなかったのも、個人戦の応援へ行ってきた▼観客席で見ていたが、あっちもこっちもで試合が始まるし、なかなか見えない。観戦に来て下さった保護者の方には、申し訳ないが、学校関係者は、フロアに降りて見てもよいという権利を行使することにした▼卓球のラケットには、ペンホルダーとシェークハンドの2種類があったと思ったが、ざっと選手を見渡してみると、ペンホルダーのラケットを持った選手は見つけることができなかった▼ラケットと言えば、スリッパかうちわだろという方々は、「慰安旅行」「親睦旅行」「温泉旅館」という言葉を知っている人ぐらいだ▼卓球の醍醐味は、いわゆるスマッシュで相手を打ち抜く！だと思うが、得点の多くは、相手のミスによるもの。いわゆるラリーを重ねて、確実に相手にボールを返す。ミスしたほうが失点する▼ツツツキ合いの時は、静かにピンポン玉が行き来する。時々相手のコートに強打する時の音は、爽快▼近くで見せてもらうことができ、臨場感があって、楽しかった。たくさんの子が出場していたので、試合が同時進行する。そのため、あっちへこっちへ応援に右往左往する。回転をかけたサーブというのは、とても有効。縦回転に横回転、魔法のように繰り出される数々の回転サーブはすごい。